

【M5 Mold 入門コース】トレーニング内容

対象者:M1 コース修了者および設計の知識のある方

利用システム:Space-E/Mold

Space-E/Mold の操作方法、標準コマンドのプレート・部品作成・編集方法、冷却設計、およびオリジナルのユーザ部品作成機能など、3 次元金型作成モデリング機能について学びます。

◇標準コマンド

モールドベース作成コマンド

<プレート一括作成/おも型作成/入れ子設定/たわみ計算/エジェクタピン/ボルト/
ライン・スポット/練習問題>

部品作成・冷却設計コマンド

<ガイドピン/ガイドブッシュ/ホットランナーブロック/ランナー/ゲート/スプルーロケット/
サポートピラー/冷却設計/練習問題>

拘束・部品編集コマンド

<拘束/干渉チェック/重量計算/重心計算/穴部品編集/部品表/穴表/部品編集/練習問題>

◇標準コマンド総合練習

<設計の流れ/モールドベース作成/キャビコア分割/たわみ計算/部品配置/冷却設計/
部品表/穴表>

◇付録 アンダーカット設計

<傾斜スライド作成/傾斜ピン・ユニット作成/アンダーカット部作成/スライドコア作成/
ガイドレール作成/ロッキングブロック作成/アンギュラピン作成>

◇付録 穴あけ

<特徴/作業の流れ/CAM ヘモデル&フィーチャー取り込み/加工フィーチャパレット/
加工フィーチャー変換/フィーチャツリーから加工工程作成/経路計算と確認>

◇付録 図面化

<特徴/作業の流れ/アレンジモード起動/対象モデル選択/投影図と配置方法/投影図作成/
穴表作成>

◇ユーザ部品とユニット部品

第 1 章 ユーザ部品の基礎

<ユーザ部品の構成と管理/作業の流れ>

1 フリー寸法ユーザ部品 <モデリング/変数作成と関連付け/属性設定/登録と配置>

2 定義寸法ユーザ部品 <属性定義ファイル作成/登録と配置/演習>

第 2 章 ユニット部品の基礎 <ユニット部品の構成と管理/作業の流れ/部品配置/位置決め拘束
/パブリッシュ変数/寸法繋ぎ/部品登録と配置/演習>

第 3 章 活動化非活動化機能を利用した部品作成 <活動化非活動化/非活動化索引付加>